

ソトン卿の報告書發表前、滿洲新國家の承認を鮮かに遺つてゐたものである。所が、國際聯盟に十九回國委員會一は、自分の缺點を多く棚に上げ、日本生氣なりとして、理が赤でも日本を抑へようとしたから、日本も勢い反撥せざるを得ない事となり、態度も委員會や理事會で押間竹をしての結果が、遂に去月廿四日の聯盟總會で、「四十一對一」云ふ名譽の一票で日本代表が場を退くこととなつたが、今日本の國際道義の程度では、獨り日本が如何に頑張つても、東洋問題

幕一の後最

松岡日本代表の 正義のさじ

國際聯盟總會に於

國際聯盟

白雲西雨時報

洲國は、之を歴史的、政治的乃至至人の
種的見地に觀るも、全然文部の一言で足りて
は是れ今まで余の脣々反覆せる所にして
斯くの如き條件の下に置かるる洲國の
の分離獨立は蓋し世界の平和に骨感な
與ふる咎否善惡の行為を察認するに過
ぎぬものである。故に委員會の報告書によ
て於て洲國が、洲國の現政権の名
實方に之を否認せんとするは、余の衷
心懇謝惜がざる處のものである。と同
に之れ支那政府が本報書等に對
全幅の承認を與ふる所以である。而して
て日本が萬一本報書等の承認を爲さざ
る場合は、支那政府は聯盟規約第十一
五條第六項に依つて置かるる権利を有
主張せんとするものである
結んで降壇した

題に關し多數で抑える場合は日本が聯盟より手を引くは已ひを得ない事である。即ち松岡全權が、壽府引揚後巴里より全世界に向つて聲明せる「日本代表は、單に日本と云ふ立場だけからでなく、國際聯盟員たる立場から、東洋永遠の平和、尙廣く云へば世界平和の爲め大に盡す處があつたのであるが、之が自己本位の歐羅巴諸國から容れられなかつたと云ふ事は、寧ろ聯盟の爲めに悲しみべきことだ」との言の如く、吾人亦歐羅巴諸國が餘りにも多く自國の利害に囚はれ過ぎ、西洋と東洋との間に溝渠を作りし月にか實現するものだ。聯盟總會に於ける票決と云つても、南米十三ヶ國は體よく避け、シヤム國は断然棄權して日本に好意を示し、羅巴諸國と雖も各々異つた立場から異つた考への下に日本に對し、只自國あるを知つて他者を知らざる有様であるからこそ此の不合理的行動には必ずや醒める時が来るに相違ない。に今國聯盟總會に於ての四十分に對する日本の一票は即ち正擁護の名譽の一票で、之は國際史上永遠に輝くべき處のなりとする。

對一を以て可決された、勧告書の内容は左の如し

第一節――（總會が勧告する諸決議事項）

（一）本事件の極めて特なる事情に支配され、次の考慮並に條件附託したものである。

（二）日支紛爭の解決は、聯盟規約、巴爾干條約の條項を尊重せざるからず。

（三）紛争のあらゆる解決に關する聯盟の態度は、一九三二年三月十一日總會が聯第一部、第二部に依つて確定され、從つて紛争の解決は右條項を尊重せざるべからず。

總會は、本報告書中に既に引用された右決議に依つて、左の聯盟規約の條項が本紛争に適用される。

自ら之を防ぎ得ざる絶縁的争事と
國家である、要するに内亂と壓制
飢餓、洪水煙火政局の國家に外なら
い、之が爲め日本は、夙に支那を協
せんと努めて來たが、支那は常に日
を真切り以て日本の生命にも比すべき
權益を有する滿洲より日本人を駆逐
んとした、日本は過去に於けるが如
將來を雖も権東に於ける秩序と和平
擁護者たらんと確信してゐるもので
あるこの見解こそ、實に日本の満洲
承認となつて顯はれたものである、
員會の報告書中には支那が凡ゆる點
於て有利に取扱はれてゐるに拘らず
日本が権東方に満洲の發展に警戒し
る行爲に就ては全く過歎を持してゐ
ることは不可解である、即ち該報告書は
東に於ける秩序、正義、平和の擁護者
ある國家に對し苛酷其のもので、他
殆ど一世紀に亘つて無秩序と内亂
爲めの國の状態を脱し得ない國家に
置かれるは余の解はざる處である
又該報告書では、支那が依然日本であ
り乎地で挑戦を繼續し得る權利を有
さし、今次の日支系争に關しては支

議事録
古賀會
議會は同時に一九三一年十二月一日
事會開設が、その宣言で方式化した
原則を確認し、理事國十ヶ國が一九
二年十月十六日日本政府に對する要
に於て、これ等諸原則を重ねて傳へて
規約十條に違反して犯された一切の打
罪並に政治的獨立に對する一切の打
は、聯盟國により有効乃至實行された
められることを得る爲に、上述の協
定を想起する。
(一)紛糾解決は日支兩國間に水陸の協
定の確立することを得る爲に、上述の協
定の尊重を基礎として、ソシテント
諸締約の尊重を原則に一致するものな
く要す。
告書第九草稿原則に一致するものな
く要す。

る、本邦の國務委員に就ては、議長は、討議は出來得るだけ範囲に亘つて行ふべきである。左の如く述べた
過去數ヶ年にわたりて極東は勿論歐洲に於いても、あたかも聯説規約が存在するかの如き觀念を呈し、この種の暴力行為が繰り返されて來た、ゲノエベニス等が本報告書に全幅の贊成を表し、之が可決の投票を爲す意向である。如何なる方法を雖も暴力行為に依る以上の一例となるを以て、之が可決を爲すことには不可である。従つてガズエラは之が可決を勧告するものであると結んだ。次で加奈陀代表リドル氏起つて將來の交渉の基調として本報告書の開か爲すべきであると報告して當席するや直に芬蘭

第三章 諸問題
第二款 調査委員會の報告書は日支間の善良なる諒解に影響ある問題をしあるを以て、該會は兩國に對し報告書を述べられた原則並に諸條件に基き等の問題を處理すべき事項を報告す。第三款、兩當事國に交渉を開始すべき時機を告す。交渉は兩國の力によつて設立されるべき委員會の助力の下に行はるべきとの事。交渉開始後監視團をして各國が勧告に合致したる行動に出でてかかる否かを判定する事を得しむる。委員會は交渉の狀態、特に勧告第一第二款の適用に關する交渉に就き報道するべきものとする。
第三節 勧告せられたる解下
一九三一年九月以下在したる原状への復歸とは異なる。又は滿洲の現政權の維持及び承認をするものである。

議場退出の帝國全權一行表書中が「閣下等の退場は日本の般退を意味せるものにや」これ問せるに對し、松岡全權はなる面特にて唯敵語「余等きこひ壽府に歸へらざるべし」へたのみであつた

國際聯盟臨時總會は昨廿四
前一時三十分イーランス議
會のもとに開會、日支兩國
其他の討論後直に十九ヶ國
會報告書の票決に移り四十
一票にて遂に可決した
松岡代表は、右報告書の票
擇後頃支那代表の演説聽る
つて登壇し「帝國政府をし
該報告書を絶対に承認し得
るべく

立場
記者
聯盟
の獨自の外交政策の唯一
も變更せしむるものでは
てない、列國は吾人が必ず
努力をつくしながらにも拘
我が帝國の堅持する政策
ち毀し之を理解する者は以
も無かつたのだ、日本本国
國際聯盟が之迄に示した事
置のみならず、今日米露
を之に誘入せんとしたつ
態度に對し異常なる刺
け昂奮と示しつゝある所
であつて、特に米露を説
などしつゝあるに對する所
その滿洲に於ける利害が
のそれと正に背馳するま
る事を痛感してゐる云々

號外再録

松岡代表
一路巴里

昭和八年三月二日

木曜日



第一回雄辯大會 青年會

バーレー・ロ・青年會

ブロミソン・奥に在るバラマン

ナベーロ書年同志會は、二年

前第一回雄辯大會を催はして以

來月毎に集會を缺した事のない

と云ふ程發展振りを現はしてゐ

たが最近また第二回青年雄辯大

會を催はし辯論練磨を行つた所

若人の純真なる叫びを聽かんと

て集まれる人々實に百五十を超

へ語る者聽く者共に熱を加へ

近頃稀に見る盛會であつたと、

尙、演者氏名並に演題を舉ぐれ

ば左の如くである

小打 豊彦

一間合唱 舟井繁一

農村發展策に就いて 井上義一

青年前途の二大要素 米倉清吉

誤れる植民政策の倒壊 多胡寅

足元を見詰めて 金城山吉

智識の修養 増田秀之助

（顧問） 関根常吉

伯國における邦人青年の前途 小打 豊彦

農民よ!笑つて働け 舟井繁一

誤れる植民政策の倒壊 多胡寅

足元を見詰めて 金城山吉

智識の修養 増田秀之助

（顧問） 関根常吉

伯國における邦人青年の前途 小打 豊彦

農民よ!笑つて働け 舟井繁一

誤れる植民政策の倒壊 多胡寅

足元を見詰めて 金城山吉

智識の修養 増田秀之助

（顧問） 関根常吉

伯國における邦人青年の前途 小打 豊彦

農民よ!笑つて働け 舟井繁一

誤れる植民政策の倒壊 多胡寅

足元を見詰めて 金城山吉

智識の修養 増田秀之助

（顧問） 関根常吉

伯國における邦人青年の前途 小打 豊彦

農民よ!笑つて働け 舟井繁一

誤れる植民政策の倒壊 多胡寅

足元を見詰めて 金城山吉

智識の修養 増田秀之助

（顧問） 関根常吉

伯國における邦人青年の前途 小打 豊彦

農民よ!笑つて働け 舟井繁一

誤れる植民政策の倒壊 多胡寅

足元を見詰めて 金城山吉

智識の修養 増田秀之助

（顧問） 関根常吉

伯國における邦人青年の前途 小打 豊彦

農民よ!笑つて働け 舟井繁一

誤れる植民政策の倒壊 多胡寅

足元を見詰めて 金城山吉

智識の修養 増田秀之助

（顧問） 関根常吉

伯國における邦人青年の前途 小打 豊彦

農民よ!笑つて働け 舟井繁一

誤れる植民政策の倒壊 多胡寅

足元を見詰めて 金城山吉

智識の修養 増田秀之助

（顧問） 関根常吉

伯國における邦人青年の前途 小打 豊彦

農民よ!笑つて働け 舟井繁一

誤れる植民政策の倒壊 多胡寅

足元を見詰めて 金城山吉

智識の修養 増田秀之助

（顧問） 関根常吉

伯國における邦人青年の前途 小打 豊彦

農民よ!笑つて働け 舟井繁一

誤れる植民政策の倒壊 多胡寅

足元を見詰めて 金城山吉

智識の修養 増田秀之助

（顧問） 関根常吉

伯國における邦人青年の前途 小打 豊彦

農民よ!笑つて働け 舟井繁一

誤れる植民政策の倒壊 多胡寅

足元を見詰めて 金城山吉

智識の修養 増田秀之助

（顧問） 関根常吉

伯國における邦人青年の前途 小打 豊彦

農民よ!笑つて働け 舟井繁一

誤れる植民政策の倒壊 多胡寅

足元を見詰めて 金城山吉

智識の修養 増田秀之助

（顧問） 関根常吉

伯國における邦人青年の前途 小打 豊彦

農民よ!笑つて働け 舟井繁一

誤れる植民政策の倒壊 多胡寅

足元を見詰めて 金城山吉

智識の修養 増田秀之助

（顧問） 関根常吉

伯國における邦人青年の前途 小打 豊彦

農民よ!笑つて働け 舟井繁一

誤れる植民政策の倒壊 多胡寅

足元を見詰めて 金城山吉

智識の修養 増田秀之助

（顧問） 関根常吉

伯國における邦人青年の前途 小打 豊彦

農民よ!笑つて働け 舟井繁一

誤れる植民政策の倒壊 多胡寅

足元を見詰めて 金城山吉

智識の修養 増田秀之助

（顧問） 関根常吉

伯國における邦人青年の前途 小打 豊彦

農民よ!笑つて働け 舟井繁一

誤れる植民政策の倒壊 多胡寅

足元を見詰めて 金城山吉

智識の修養 増田秀之助

（顧問） 関根常吉

伯國における邦人青年の前途 小打 豊彦

農民よ!笑つて働け 舟井繁一

誤れる植民政策の倒壊 多胡寅

足元を見詰めて 金城山吉

智識の修養 増田秀之助

（顧問） 関根常吉

伯國における邦人青年の前途 小打 豊彦

農民よ!笑つて働け 舟井繁一

誤れる植民政策の倒壊 多胡寅

足元を見詰めて 金城山吉

智識の修養 増田秀之助

（顧問） 関根常吉

伯國における邦人青年の前途 小打 豊彦

農民よ!笑つて働け 舟井繁一

誤れる植民政策の倒壊 多胡寅

足元を見詰めて 金城山吉

智識の修養 増田秀之助

（顧問） 関根常吉

伯國における邦人青年の前途 小打 豊彦

農民よ!笑つて働け 舟井繁一

誤れる植民政策の倒壊 多胡寅

足元を見詰めて 金城山吉

智識の修養 増田秀之助

（顧問） 関根常吉

伯國における邦人青年の前途 小打 豊彦

農民よ!笑つて働け 舟井繁一

誤れる植民政策の倒壊 多胡寅

足元を見詰めて 金城山吉

智識の修養 増田秀之助

（顧問） 関根常吉

伯國における邦人青年の前途 小打 豊彦

農民よ!笑つて働け 舟井繁一

誤れる植民政策の倒壊 多胡寅

足元を見詰めて 金城山吉

智識の修養 増田秀之助

（顧問） 関根常吉

伯國における邦人青年の前途 小打 豊彦

農民よ!笑つて働け 舟井繁一

誤れる植民政策の倒壊 多胡寅

足元を見詰めて 金城山吉

智識の修養 増田秀之助

（顧問） 関根常吉

伯國における邦人青年の前途 小打 豊彦

農民よ!笑つて働け 舟井繁一

誤れる植民政策の倒壊 多胡寅

足元を見詰めて 金城山吉

智識の修養 増田秀之助

（顧問） 関根常吉

伯國における邦人青年の前途 小打 豊彦

農民よ!笑つて働け 舟井繁一

誤れる植民政策の倒壊 多胡寅

足元を見詰めて 金城山吉

智識の修養 増田秀之助

（顧問） 関根常吉

伯國における邦人青年の前途 小打 豊彦

農民よ!笑つて働け 舟井繁一

誤れる植民政策の倒壊 多胡寅

足元を見詰めて 金城山吉

智識の修養 増田秀之助

（顧問） 関根常吉

伯國における邦人青年の前途 小打 豊彦

農民よ!笑つて働け 舟井繁一

誤れる植民政策の倒壊 多胡寅

足元を見詰めて 金城山吉

智識の修養 増田秀之助

（顧問） 関根常吉

伯國における邦人青年の前途 小打 豊彦

農民よ!笑つて働け 舟井繁一

誤れる植民政策の倒壊 多胡寅

馬力懐中電燈

文
藝

各種投
稿歓迎
します

まげに、何遠回ぶりかで飲む牛乳まで！
圖々教徒には牛を飼ふことが禁止されて居たが、領事さんは牛小屋に牝牛を二頭

で、わしは結局、皇帝され話申上げる
事が出来たといふわけさ。

日本人の體質が最も必要とする

ビタミンBの 含有量最大

最新營養化學の教ふる最も完全なる強壯剤
ボリビタミーナ

左の病状にある人々は是非服用し一日も早く健康を

、マレーリタで衰弱して居る人

十二指腸で衰弱して居る人

、乳兒脚氣豫防の爲め母體の健康のより早き快復の爲め産前産後の養生に

慢性胃腸病等にて營養障害にかかる人

特に病氣と云ふのではないが、健康的な生活を送るには、この種の作用は不可欠である。

長生きは營養の合理化から

サンパウロ市

製造元
大河内藥化學研究所

◇到る處の有名なファルマシアに販賣す

界の屋根」の無人境や、赫湯の沙原の大原の上に就て、或はその時出来た見知らぬ人々や、未開の電影シネマへ飛行機のバイロットや、歐洲或る國の領事や石鉱業者、金銀業者、セメント業者、銀行員や、船員など、或はその他の職業の人々が、居候る。居候る中で最も多く居候る者は前すなばち此の勇敢で些が突飛な星人である。彼らは「ヘルボルト・カーニナルト・ヘッセン」と書いて「ヒンツ・アルカーネ」の生れ、その飛行場にも飛行機の猪がある。その著者が彼氏の愛情が如くに實れたか何うかは知らぬ児に角面白いと思つた中にこんな話ある。

内へ急に後へふりむひて叫んだ。
「貴様さーん、ドイツから誰か見へ
たよウ……」
「それから此の若い男は、馬に手なかれ
私を駆から下してくれた。その間に一
度は家の中から、雪のやうに白い壁
のやしい赫る顔の老人が一人出て來た
スムス儀相だつた。心から歎息して
馬力。
「一度いい所へ來てくれたものだ。
共は誰でもいいから話相手になる
ほしいと思つてた所だつた。
彼は居心地のよい部屋へ案内してく
車の上には石油ランプが駆かせられ
行土石。壁にはヒンテナブルケ元
飛げて居た。壁にはヒンテナブルケ元
大きな肖像がかけてあつた。
「一度いい、フランクリントの駕馬
を切らう。どうだね、君は？」
「結構ですさも！」
やがて馬踏と野菜ラダが運ばれた

まし	遠野火な何んぐまばるの夜の窓に誰も聽こまし
かが	ガガツカにやさしき妻をめぐらして男の女
銅ひ鳴の羽書やさしくかげ落した上り	銅ひ鳴の羽書やさしくかげ落した上り
はしけやしこの幼兒は乳のみつすこやか	はしけやしこの幼兒は乳のみつすこやか
人皆の話とざれし頭と思ふそのじぢら	人皆の話とざれし頭と思ふそのじぢら
わし	●
人が	●
られた	雨晴れてすがすがし朝すがテンの字あそ
れた	かそかにもかそかにも吹く風のあり千々
た	白壁にもたれて物語む少女ありうらら
だ	叛逆の冷ねし淋しさ筋骨の骨ばかりなる
だ	固き床に黙り廢れたり母の亦物言はざり
だ	捨てられし仔猫の漏れぬき路地貧しき
た	カゼクロの軍曹の子ミタケラの草山
た	阿蘇山が死れてるといふ熊本の阿蘇の夢
た	本郷の根津櫻痴の妹日のあいに神樂の父
た	アラサギ。すみれたちこめる秋葉 石燈
の	の鐘

もう寂しかり
如き日焼顔かな
りたる屋根の草かな
にして母たはむる
くに見は欠伸し
まくにさげたるバナナの葉見れば
と辿りて母養み給ふ
日々囁喜むとするに
るその骨に濡れて悔なし
りきたゞ泣けて泣けるが嬉し
き人のそはせし暮色
に極て怖を食ふばく
都のむ千代を思ふ
由の音の秋
みるあの馬車の
火花散る跡！

順の人の有名なアルマシアは營養の会
迫元サンバ

口理化から ウロ市[®]

○ 八二號 學研究所

CASA TOZAN
MIZUKAMI & CIA.
COMMISSARIOS

Praga Maná, 25 —— Caixa Postal, 911
 Telephone, 2837 —— Endereço Telegraphico "TOZAN"

SANTOS

サントス市

珈琲 コミサリオ

力一サ 東山

モツカミ・イ・コンパニア

郵局 九一號

電話セントラル三五七號

電信署號「TOZAN」

弊店取引方法は御覧會

次第御回報申上候

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.
 (THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.)
 Rua da Candelaria, No. 23
 Caixa Postal, 380 — Rio de Janeiro

リオ、デ、ジャネイロ

△鄉里送金

爲替管理の爲め目下の處自由送金許可
 相成らす已むを得ず郷里送金事務一時
 中止致居候。

但し本人直接「バンコ・ド・ブラジル」に
 御出頭送金許可を得られたる場合は送
 金取扱可申認可を得る事は甚だ困難
 に有之候。

△日本貨定期預金

此の定期預金は一應資金を内地に送金
 し當行の内地支店の預金とする形式を
 とるもの故送金困難の現在取扱致兼候

伯貨當座預金(小口) 年賃分
 伯貸定期預金は印紙税高率に付當分取
 扱不申候